

もくぞうしょうかんのんぼさつりゅうぞう  
「木造聖観音菩薩立像」

- 指 定 千曲市指定有形文化財（彫刻） 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字上山田 1197 番地 2 智識寺
- 所 有 者 智識寺
- 概 要 檜材寄木造り、素地  
寸法：像高 168 cm、頂～顎 27 cm、髮際～顎 21.5 cm、面幅 18 cm  
面奥 22.5 cm、肩張 27 cm、肘張 48.5 cm、胸厚 21 cm  
腰張 27 cm、裾張 33.5 cm、裾奥行 12.5 cm
- 時 代 12 世紀 平安時代
- 公 開 事前に智識寺（☎026-275-1120）に申し出て拝観してください

この観音立像は、頭部と軀部の作りが異なっていて、軀部は矧付部に小材を添木するほかはほとんど当初のままで、肉どりが厚く、衣の彫りは浅く、穏やかに表現されています。

条帛の形、天衣等を軀部と共木で彫出したところや、その形式などは平安時代末彫像の特有のものです。

しかし頭部については、天冠台の形や宝髻の形などが平安時代にそぐわないところがあり、目、鼻、口などの形も同様です。地髪を毛筋彫りとして、その一部が耳朶を巻くところが古い様相にならっていて、恐らく頭部は後の補修と考えられます。

